

令和2年12月遠野市議会定例会一般質問

質 問 者	質 問 の 要 旨	答 弁 者
<p>小林 立栄 議員 (一括質問)</p>	<p>1 男女共同参画社会の実現に向けて 男女共同参画の目指す社会像は、男女という性差にこだわらない、誰もがお互いに一人ひとりの個性を認め尊重し合い、能力を發揮し、自分らしい生き方を自由に選択できる社会である。男女共同参画の推進は、市民生活を豊かにする上で必要不可欠であり、本市の取組を伺う。 (1) 男女共同参画の必要性について (2) ワーク・ライフ・バランスの推進について (3) ハラスメント防止対策の推進について (4) 女性特有のがん対策の充実について (5) 学校における男女共同参画の取組について</p> <p>2 ヘルプマークの普及啓発を 「ヘルプマーク」とは、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々（義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など）が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークである。本市での普及啓発について伺う。</p>	<p>市 長 教育長 市 長</p>
<p>菊池 美也 議員 (一問一答)</p>	<p>1 小中学生の学力・学習状況の調査手法について (1) どうして勉強しなくてはいけないのと生徒から素朴な疑問を投げかけられた際、教育長はどのように答えるか。 (2) 実施している学力調査は学力の伸びを把握する方法になっているか。 (3) 伸びが分かる学力・学習状況調査は、教師にとっても、自分がどのくらい児童生徒を伸ばしたかが分かり、指導方法の改善につながるものとするか。 伸びを把握する調査手法を取り入れるべきではないか。 (4) 学力との関係において、非認知能力についてどのように考えるか。 (5) 自制心や自己効力感などと言った非認知能力の調査をしているか。 (6) 学力の伸びが分かり、非認知能力も調査し、データを使って教師がその指導の改善ができる調査が全国に広がっている。これらの自治体と連携して、同様の調査に変更するべきではないか。G I G Aスクール構想を踏まえ、今こそ、切り替える契機とするべきではないか。</p>	<p>教育長</p>
<p>佐々木大三郎 議員 (一問一答)</p>	<p>1 財政状況と住民サービスのあり方について (1) 今後の歳入の急激な減少と主要3基金の大幅な減額見通しの要因は。また、第四次健全財政5カ年計画の内容は。 (2) ハコモノ行政から脱却できない認識は。 (3) 中心市街地活性化策について、後期5カ年計画にどのように反映されたか。 (4) まちおこしセンター1Fの活用計画の現状は。 (5) 生活に身近な道づくりと、水路整備について後期5カ年計画への反映は。 (6) 「子育てするなら遠野」構想の内容と狙い、及び成果は。 (7) 令和2年度の小中学校の空調設備設置工事請負費に係る市長の認識について</p>	<p>市 長 市 長</p>
<p>小松 正真 議員 (一問一答)</p>	<p>1 第四次健全財政5カ年計画について (1) これまでの検証について (2) 今後の見通しについて</p>	<p>市 長</p>

<p>佐々木恵美子 議員 (一問一答)</p>	<p>1 新法律による遠野市の過疎地域指定の見通しについて (1) 新しい法律の指定要件についての把握は。 (2) 現在の過疎法の指定を受けてから、過疎債の発行総額はいくらになるのか。</p> <p>2 高校魅力化について 市として魅力化にどのような計画で取り組むのか。</p> <p>3 若者の力をまちづくりに 第2次遠野市総合計画 後期基本計画 大綱5 みんなで考え支えあうまちづくりを中心に伺う。</p>	<p>市長 市長 市長</p>
<p>菊池 巳喜男 議員 (一問一答)</p>	<p>1 日本、RCEP協定に署名、どうなる日本そして遠野を取り巻く環境は 日中韓や東南アジア諸国連合 (ASEAN) に欧州ニュージーランドが参加する地域的な包括的経済州連携 (RCEP) 交渉が妥結し、去る11月15日に協定に署名した。コロナ禍で落ち込んだ日本の経済を成長軌道に乗せることができるのか。その中で、遠野を取り巻く環境はどうなるのか。特に農業部門はどう展開していくのか。</p> <p>2 野生きのこ・山菜類の放射性物質に係る状況は進展しているのか 東日本大震災の発災そして東京電力福島第1原子力発電所事故から10年近くが経過しているが、未だに放射性物質に悩まされている。出荷制限は、野生きのこや山菜類に及んでいる。現状と対策をどう見ているのか。</p> <p>3 地籍調査の現状と今後の計画そして完了の見込みは 毎年、地籍調査予算を計上し、地上法地籍測量業務が実施されている。その現状をどのように捉え、今後どのように展開して行こうとしているのか。</p>	<p>市長 市長 市長</p>
<p>瀧本 孝一 議員 (一問一答)</p>	<p>1 5期目3年間のこれまでの総括と、残り1年の市政への取組や今後について (1) 公約の実行度・達成度等、3年間の検証や感想・評価について (2) 残り任期1年弱でのまちづくりや取組について (3) 総合計画・後期計画策定への思いや決断について (4) これからの本市の将来展望や、課題案件等について</p> <p>2 東北DC(デスティネーションキャンペーン)への対応と観光施策について (1) 東北デスティネーションキャンペーンの認識について (2) 震災復興10年目での開催の重要性について (3) JR東日本や旅行会社、関係機関との連携について (4) 準備状況と遠野市の果たすべき役割について (5) 更なる観光施策の充実について</p>	<p>市長 市長</p>